

1 単元名 Unit4 Be Prepared and Work Together (New Horizon English Course3)

2 単元について（研究主題との関連含む）

本単元は、日本で災害に遭った外国人の体験談を紹介する英語番組や災害時の外国人支援の取組について扱っている。言語材料としては、間接疑問文と SVOO (what 節) の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法が扱われている。これらの言語材料を学習することで、言葉に情報を加えて説明することができるようになる。

本学級の生徒は素直な生徒が多く、ペア活動やグループ活動等の協働的な学習にも意欲的に参加する。一方で習熟度に差があり、英語に苦手意識をもち、発表や表現活動に消極的な様子も見られる。そのため、スモールステップで教科書内容の理解を進めたり、表現活動を行う際にはペア活動で助け合う雰囲気大切にしたりしてきた。

本時は、日本で地震に遭った2人の外国人の体験談の要点を捉えた後、災害時に自分たちにできることは何かを考える活動を行う。本単元の評価発問を”How can we help each other in a disaster?”と設定し、単元を通じて評価発問に対する自分の考えを継続的に考え、教科書から読み取った情報を加えながら主体的に発信する力の育成を目指したい。また、ICTを活用し、状況や場面の提示のみならず、評価発問に対する自分の考えや友達の意見を参考にしながら、主体的に自分の意見や考えを述べることの一助としたい。

3 本時の学習（6/9時）

(1) 目標

- ・日本で地震に遭った外国人の体験談の英文を読んで、概要や要点を捉えるとともに、その内容を基に自分たちが災害時に外国人支援のために何ができるかについての考えや意見を書くことができる。

(2) 展開

配時	学習活動		指導上の留意点 ◆評価（方法）
			☆「よさを認め合う集団づくり」との関連、★「学び高め合う授業展開の工夫」
5	1	前時までの学習内容の確認を行う。 全体	・前時までの既習事項を確認し、本時の学習課題への動機付けを行う。
1	2	本時の学習課題を確認する。 全体	
	日本で地震に遭った外国人の体験談の英文を読み、自分たちができることは何かを提案しよう。		
15	3	新出単語を確認し、英文の概要や要点を捉える。 ペア ・ 全体 ・ペアで新出単語の意味を確認する。 ・話の時系列に合うように絵を並び替える。 ・QAで外国人の体験談の要点を捉える。	・各場面に関する絵や発問等、様々な形で本文内容を捉えさせることで、生徒が本文内容の理解を深めることができるようにする。デジタル教科書を使用して問題に解答させる。
12	4	災害時、避難することに困難を感じている外国人に対して、どのような声かけをすればよいかを考える。 個人 ・ 全体	
15	5	評価発問に対する考えや意見をタブレット端末に入力する。 個人 ・ 全体 <生徒の意見例> ・ I think it's difficult for me to speak to foreigners. It's not easy, so we have to learn more to help foreigners and improve my English.	★評価発問に対する自分の考えを振り返ったり、友達の見意を取り入れたりしながら、自分の考えを書かせる。 ◆思考・判断・表現 日本で地震に遭った外国人の体験談の英文を読んで、概要や要点を捉えるとともに、その内容を基に自分たちが災害時に外国人支援のために何ができるかについての考えや意見を書くことができる。（発表、レポート）
2	6	本時の振り返りを行う。 全体	

(3) 授業の視点

- ・評価発問を設定し、本文で読み取ったことを踏まえた考えを表出させたことやICT利用して生徒が英文の概要や要点を読み取ったことは、主体的に発信する力を育成する上で有効であったか。